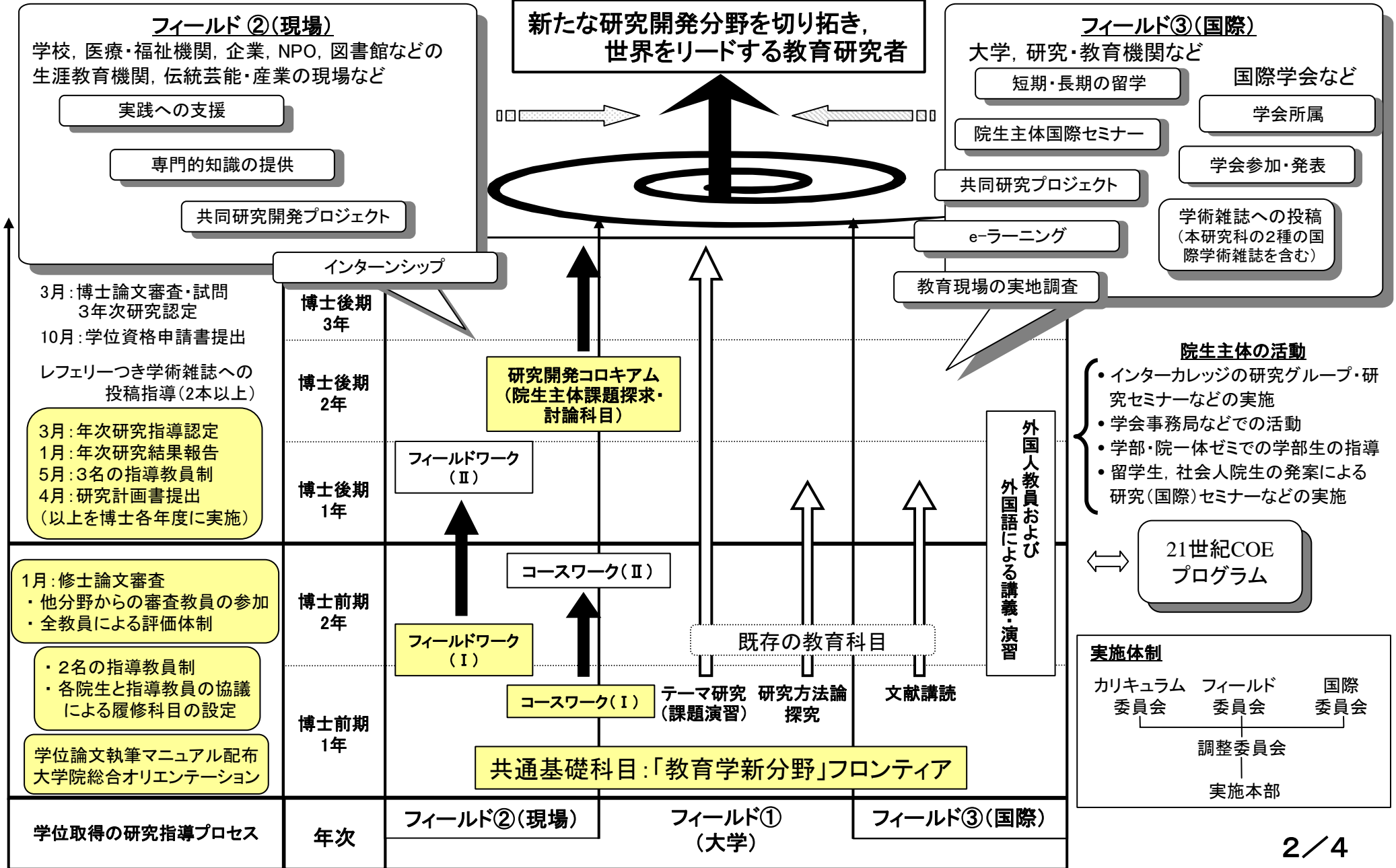


理論・実践融合型による教育学の研究者養成

京都大学
教育学研究科 教育科学専攻

平成17年「魅力ある大学」イニシアティブ 採択

理論・実践融合型による教育学の研究者養成

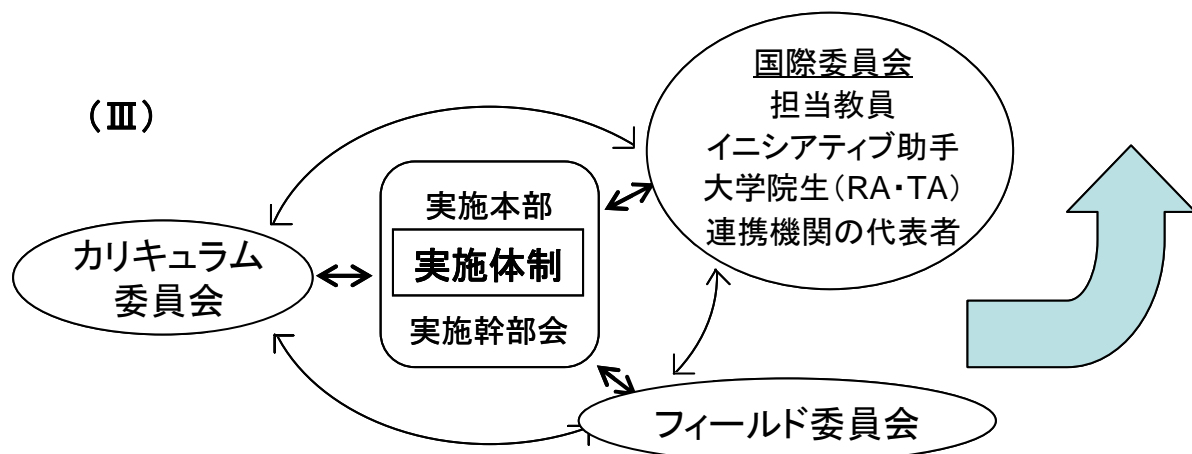
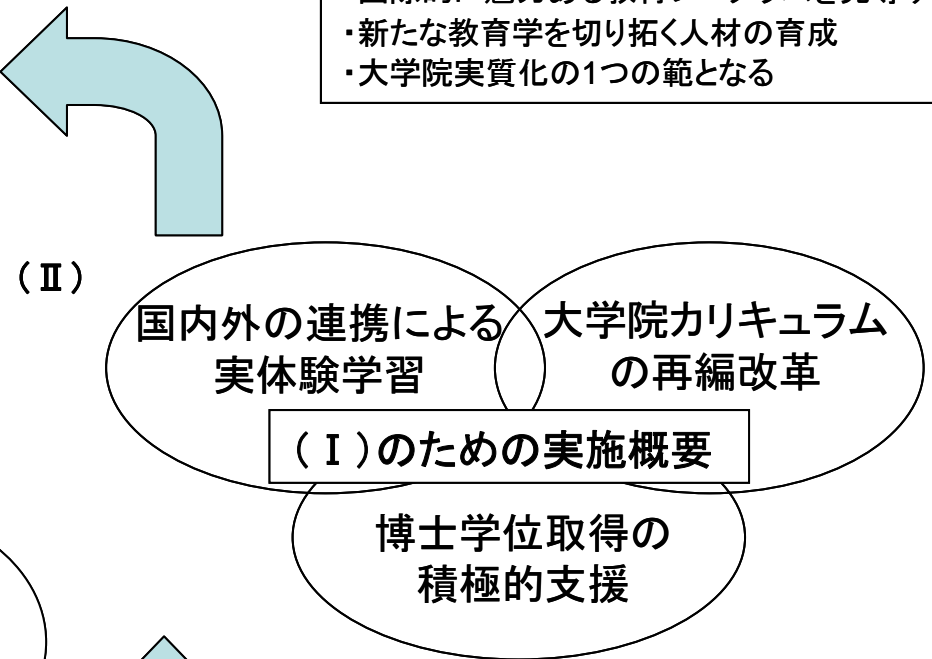
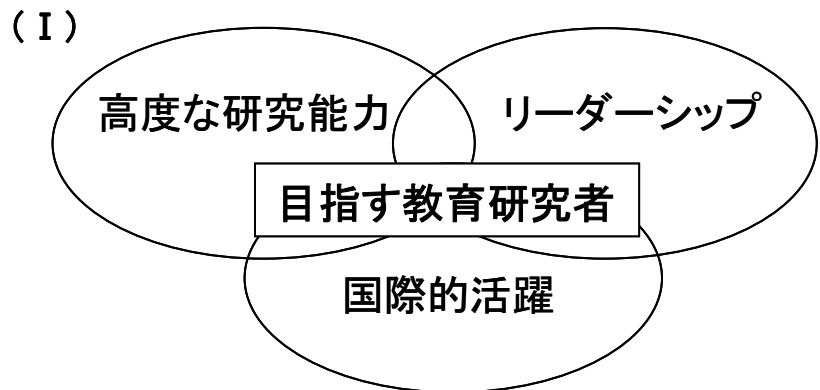


理論・実践融合型による教育学の研究者養成

新たな研究分野を切り拓き 世界をリードする教育研究者 ↔ 国内外の学生からみた 魅力ある大学院づくり

本教育プログラムの波及効果

- ・国際的に魅力ある教育プログラムを先導する
- ・新たな教育学を切り拓く人材の育成
- ・大学院実質化の1つの範となる



19年度以降の見直し

- ・本取り組みの継続と発展をはかる
- ・横断的プログラムに対応できる人材養成, 組織作りをはかる
- ・大学の自己資金とともに資金を確保する
- ・大学院生への経済的支援をはかる

↑↑ 京大本部 ↑↑ 教育学研究科 ↑↑ 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

理論・実践融合型による教育学の研究者養成

フィールド③(国際)の具体像

中国

P大(中国の教育系大学のトップ)

S図書館・科学技術研究所(アジア最大の拠点図書館)

K研究所(中国の大学・研究機関の中核拠点)

国際セミナー

- ・共同研究: 才能教育の国際比較(2005)
- ・講演: 生涯教育時代の大学教育(2005)
- ・図書: 『徳川時代の思想と教育メディア』(2005)
- ・国際会議企画・基調講演: 上海国際図書館フォーラム(2004)
- ・教育: 「日本の教育と教育史」(2005)
- ・講座雑誌: *Lifelong Education And Libraries* (2005)
国際編集委員, 中国からの積極的投稿
(アメリカ, 韓国, ドイツ, シンガポール, オーストラリア, オランダ, etc.)
- ・留学生(日本⇄中国) 中国人博士論文提出者2名(2005)
- ・P大⇄本研究科: P大学部長来京...6月, 本研究科教員の訪中...7月
本研究科教員訪中...10月末(学部間協定と来年度の打ち合わせ)
- ・K研⇄本研究科: 本研究科教員訪中...10月末
K研究所長来京...11月末(研究科国際シンポジウム参加)
(学部間協定と来年度の共同研究の打ち合わせ)
- ・S図書館⇄本研究科: S図書館長来京...5月
S図書館幹部の来京...10月末(共同研究などの打ち合わせ)

学生企画のセミナー(院生・留学生)

留学生(日本⇄中国)

共同研究プロジェクト
(双方の学生・教員が課題ごとにフィールド研究)

相互の紀要への論文掲載ほか
(多様なメディアを活用したフィールド研究の発信)

各大学, 研究所, 図書館が開く大規模国際学会への参加

市民向け学術講演会・青年フォーラム(S図書館)の企画・参加
→メディア発信

イニシアティブ
教育学研究科

フランス, イタリア

ドイツ, B研究所

アメリカ, H大

京大と大学間の包括的協定

- ・H大での国際会議参加
- ・大学間共同研究に着手

- ・4月: 本研究科教員のH大講演
(国際会議発表)
- ・6月: H大学部長の来京
- ・11月: H大教授が研究科国際シンポジウムに参加
(来年度のプログラム協議など)

- ①e-ラーニングの実施
- ②国際シンポジウム開催
(学生参加)
- ③留学
(honor-student制度の検討)

- ・客員教授: ドイツ語で授業
- ・共同研究: 伝統的学びに関する国際比較調査
- ・B研究所紀要: *Pragrana*: 日本におけるメディアとしての身体
- ・B研究所: アジアの拠点として本研究科が可能か
- ・本研究科: 3名の留学希望者
- ・3月: 本研究科国際シンポジウムに3名が講演
- ・11月: 本研究科教員がB研究所での国際会議・ワークショップ, セミナーに参加・発表
(来年度のプログラム協議など)
- ・2月: B研究所長が来京

- 学際的・国際的な共同開発研究
人類学, 歴史学,
教育学, メディア学
映像の活用
- ①e-ラーニングなどの実施
 - ②国際シンポジウム関係
(学生参加)
 - ③留学(日本⇄ドイツ)